

# 農事組合法人大清水町営農組合（滋賀県東近江市）

## 組織の概要

- 平成18年転作営農組合と作業受託団体を合併し、特定農業団体を設立して転作と水稻の作業受託を行う。その後、H24年に法人化。現在、構成農家は28戸。
- 法人化以前より省力化のため水稻の直播栽培に取り組み、現在はすべての水稻で直播栽培を行っている。
- 所得増加と経営の安定化を図るため、麦・大豆の作付割合を徐々に拡大。
- 専従役員により栽培及び作業の一元管理・出役管理を行い、無駄を省き低コスト農業を目指している。



(農) 大清水町営農組合

## 生産概要

- 【作付面積】水稻：15ha（R5）、小麦：14.7ha（R5）、大豆：14.2ha（R5）
- 2年3作でブロックローテーション（稲→麦→大豆）

## 取組のポイント

### <需要に応じた生産を徹底>

- 加工適性が高く、実需からの要望も高い多収小麦品種「びわほなみ」へ品種転換し、単収向上を目指している。
- 複数の実需者との意見交換を2回実施し、品質面など、実需者の意見を踏まえた栽培を行っている。



実需者との意見交換の様子

### <麦・大豆の生産性の安定化に向けた排水対策の実践>

- 事前耕起にスタブルカルチを使用した深耕を実施し、透排水性を改善。

### <スマート農業技術を活用した生産の高度化・省力化>

- 自動操舵トラクタと連動した高精度播種機（スリップローラーシーダー）の導入により、より効率的で精度の高い播種・施肥に取り組んでいる。
- 収量コンバインの導入により、収量センサーによってほ場ごとの収穫量を把握することで、土づくりや施肥設計など、翌年の生産性改善に活用。

## 取組成果

### <面積の拡大>

- 小麦 11.4ha（R4）→**14.7ha（R5）**  
→ 17.7ha（R8目標）
- 大豆 10.9ha（R4）→**14.2ha（R5）**  
→ 15.8ha（R7目標）

### <単収の増加>

- 小麦 327kg/10a（R4）→**460kg/10a（R5）**  
→ 392kg/10a（R8目標）
- 大豆 207kg/10a（R4）→**249kg/10a（R5）**  
→ 220kg/10a（R7目標）

